

ボランティア・市民活動情報誌

おおいたボランティア

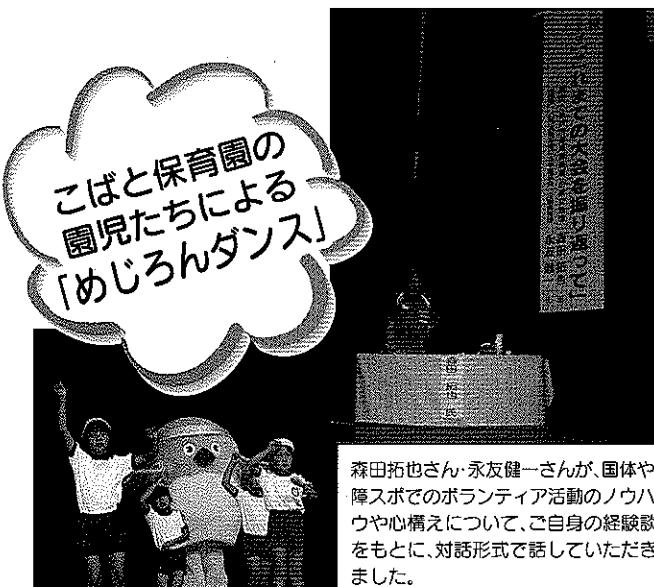
URL <http://www.oitavoc.jp> E-mail oitavoc@oitavoc.jp

～ボランティアの種を蒔いて育てよう～

発行所

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
大分県ボランティア・市民活動センター〒870-0907
大分市大津町2丁目1番41号お問い合わせ
TEL(097)558-3373
FAX(097)558-12962008 September
No.12

第5回 大分県ボランティア・市民活動推進大会が終了!! 多数ご参加いただき、ありがとうございました。



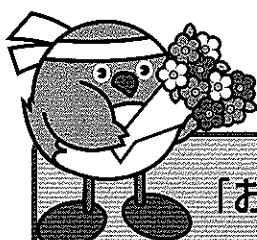
第5回大分県ボランティア・市民活動推進大会は8月22日、約800名の参加のもと大分文化会館で実施されました。

午前の部では、「さわやか福祉財団」のインストラクターとして、また「NPO法人 たすけ愛京築」の理事として活躍されている阿部かおりさんに、『ふれ合い』によって、誰もが元気になり、笑顔あふれる居場所づくりやボランティア活動を行う上での心構えなどについて、ご自身の体験等を例に分かりやすく講演をいただきました。参加者も、それぞれの立場でお互いの居場所づくりについて考えるヒントを得られたようでした。

午後の部は、「おおいた国体・おおいた大会」の成功に向けて「こばと保育園」の園児を中心とした『めじろんダンス』に始まり、久住花の会「YOU花」川越俊市さん・湯布院ガイドボランティア「あさぎり会」土師敬士さん・要約筆記ボランティア池邊恵子さん3名による、これまでの実践活動と国体に向けた想い、その後の活動の展開等について発表していただきました。

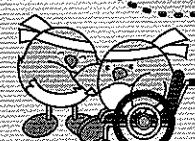
その後、兵庫県からお越しいただいた森田拓也さん・永友健一さんにより、国体や全国障害者スポーツ大会でのボランティアとしての活動のノウハウや参加にあたっての心構えなどについて、経験と具体的な事例をもとに対談形式で話していただきました。お2人の想いに、感銘を受けられた方も多いいらつしゃったようです。

永友健一さんは、大分国体にも参加されます。



「おもてなしのこころ」によるボランティア活動の展開で、
『チャレンジ! おおいた国体・おおいた大会』

を成功に導き、「おおいたのこころ」を全国に向けて発信しましょう。



8月28日(木)は忘れられない日になりました。

私は予定通り、午後開催の大分県立芸術会館で開催される“減災フォーラム”の参加に向けて最終準備を行っていました。一方で、前線の影響で28日未明から降り続いた豪雨により、日本全国で被害の報告がもたらされ始めました。個人的に活動しています“震災がつなぐ全国ネットワーク”事務局は名古屋の猫洞通りにあります。事務所は3階ですが、職員はひとり着けているのか？まわりの状況はどうなのか？メールにて問い合わせをすると、事務局に被害はなかったとのこと。ただ、地元の被害が甚大で（その時点では床上浸水400件、最終的には1000件以上）災害ボランティアセンターを立ち上げるべく、岡崎市にメンバーが入ったとのことでした。（後に名古屋市でも災害ボランティアセンター開設）

午後、予定通り芸術会館で“減災フォーラム”にパネリストとして参加しました。大分大学の千田先生、山崎先生、大分県生活環境部の進藤危機管理監、そして大分県ボランティア・市民活動センター村野の4名で、先般大分県から報告がありました地震被害想定の説明とアクションプランの内容報告および減災について討論を交わしました。また山崎先生からは、被災地や全国での要援護者の取組等が、参加者に伝えられました。いつも感じていますが、大分県は凄いと思います。必ず、市民の立場からの発言者を加えたフォーラム等を開催

するからです。日常からお付き合いがありますから、こちらもかなり苦言を呈したり、遠慮がないのはご承知のはずです。必ず参加させて頂けます。そして、被災地の実情を県民に直接伝えることができる場の提供には、大変感謝をしています。

さて、会場でも発言させて頂きましたが“被災地の声を聞いて欲しい”これは今回の水害でも同じです。被災地からの声は、関係者にはメールで配信していますが、一般の方々はご存じないと思いますので、抜粋して掲載させて頂きます。発信者は、前述しました“震災がつなぐ全国ネットワーク”代表です。

—以下転載【9月3日】—

皆様

栗田です。お世話になります。

今回の水害は合計1万戸以上の浸水被害となり、特に深刻な床上浸水が名古屋市は1000世帯を数えました。これまでご報告させていたいとありますとおり、早速災害ボランティアの支援体制を整え、声かけと作業をセットにした「おせっかい部隊」とも言うべき活動を継続しております。あれから約1週間を経て、片付けなどの大きな峠は越したように思われます。

ただし、難しい局面を迎えています。それは、未だ漏れた畳でそのまま生活されている方がどこかにいるだろうという

書籍・DVD・ビデオの紹介

●「恋するようにボランティアを【優しき挑戦者たち】」

「国民としての義務を担い、誇りをもって地域の中で働きたい」「十把一からげでなく、人生の最後まで個人を尊重してあげたい」抑えきれない思いに突き動かされてボランティ



著者:大熊由紀子
定価:1,680円(税込)
発行元:ふどう社

Book

●「福祉を変える経営～障害者の月給1万円からの脱出」

障がい者本人によるクロネコメール便配達事業が始って4年。クロネコメール便に携わる障がい者施設・団体は、大分県がトップと聞きます。「自分をまつっていくれる人がいるから」と仕事への情熱と責任感と誇りを胸に、地域の人々に支えられながら、彼らは今日も地域の中で働いています。

この事業の生みの親が語る真のノーマライゼーションの道とは何なのか、考えてみませんか？



著者:小倉昌男
定価:1,365円(税込)
発行元:日計BP社; 日計BP出版センター

Book

●記録映画「いのちの作法-沢内『生命行政』を継ぐ者たち-」

「生命が粗末にされている今の時代にふさわしい映画を作りたい」という思いで取り組んできた記録映画「いのちの作法」。豪雪・貧困・多病多死の三重苦を乗り越え、全国に先駆けて「老人医療費の無償化」と「乳児死亡率ゼロ」を達成した岩手県西和賀町(旧沢内村)を舞台に、障害者や老人、児童養護施設の子どもたちの生命に向き合い、地域に生きることを模索している様々な人々が登場。その人々の言葉が、胸を打つ。「人の痛みを知らないと、人にはなれない」、「ごめんなさい」とあります。その言葉を言えれば生きていける。改めて本当に価値のあるものを教えてくれる1本。



監督:小池征人
上映希望会場を募集中
<http://inochi-film.main.jp/>

Movie

現実です。人口220万の大都市に埋もれ、見えないのです。8月30日に1件、31日3件、9月1日に1件、2日も1件と、ボランティアの練り歩きなどからこうした世帯が現に出でてきます。「古い家屋」「長屋」「高齢者」「一人暮らし(中年男性含む)」にその傾向があると実感しています。

このようなボランティアによる練り歩きのほか、もちろん、市行政のラインからは各地域の自治会からの情報、民生委員さんに対する対象世帯の一斉調査や税務課による家屋被害調査、また社会福祉協議会ラインからはヘルパーさんらからの情報等、こうした事態には災害ボランティアセンターがお手伝いできる旨は可能な限りお知らせいただいております。その他、本日、再度のマスコミからの呼びかけのほか、福祉系NPO、生協、新聞販売店、防災士会に協力要請して、「この家が片付いていない」「様子がおかしい」などの身近な情報提供をお願いしたところです。

しかし、事態は人のいのちと暮らしの深刻な問題ですから、0／220万人でなくではありません。最悪は「水害から数日経ても、濡れた畳の上でそのまま生活していた」というようなことがないように、全力で探し出さなければなりません。でも、完全に大丈夫と誰が判断できるか。とても難しい課題との闘いでもあります。

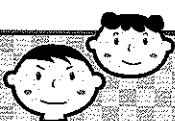
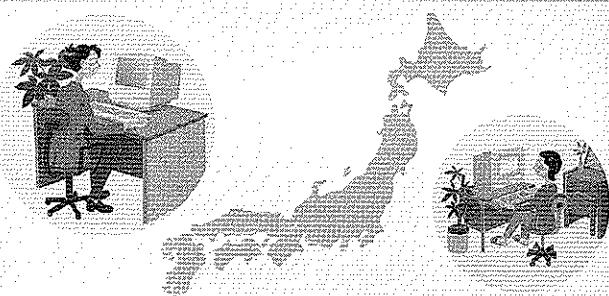
今日も名古屋は残暑で蒸し暑かったです。行き交う人の大

多数は水害の記憶すらないかのような日常に完全に戻っていますが、とにかく名古屋はいろいろな意味で「でかすぎる」と実感しています。

一以上一

要援護者問題をみんなで考えていたときに、被災地ではその把握に苦慮している様子が伺えます。これは名古屋市だけのことではありません。大分県でも同じことが起こると考えられます。災害に見舞われて準備するのではなく、日常から多種多様な団体でネットワークを創ったり、見守り活動を地域で行ったり、減災^(※1)できることはたくさんあります。被災地の声を聞き、活動に繋げなければ本当に減災することは出来ないと思います。どうか、みなさんのお力添えをお願いします。(文責 村野)

※1 減災(げんさい)とは、災害において発生し得る被害を最小限化するための取り組みである。防災が被害を出さない取り組みであるのに対して、減災とはあらかじめ被害の発生を想定した上で、その被害を低減させていくとするものである。



テニスボールが、教室の環境づくりに役立ちました。

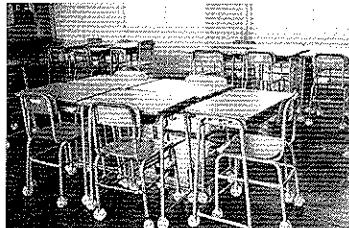
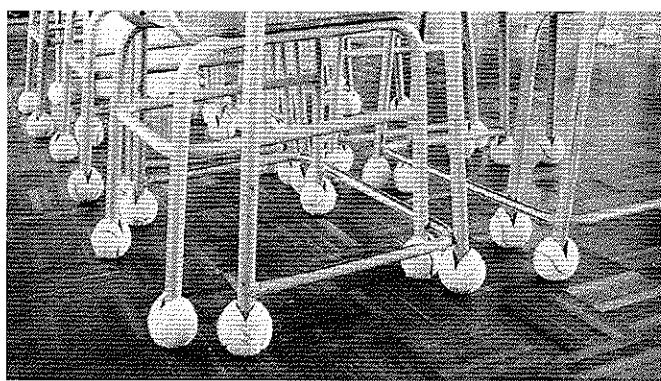
補聴器が、どれくらいの音を拾うかご存知でしょうか。

聴覚に障害をもつ児童・生徒さんは、鉛筆が床に落ちる音でさえ耳に障るそうです。教室の椅子や机をひく音は、いかばかりでしょう。

これを軽減するのに机・椅子の脚にテニスボールを取り付けると効果があると、全国でも取り組まれています。聴覚に障害をもつ生徒さんがいない学校でも「教室が静かになった」「喧嘩が少なくなった」と、喜ばれています。

写真は以前、テニスボールを贈呈させていただきました日栄西中学校の生徒会さんからいただきました。「静かに落ちていた生活ができるようになった。多くの学校に広まってくれればいい。」と、お礼の手紙も添えられていました。

皆さんの学校・施設でも、取り組んでみませんか?



※活動に興味がありましたら、ご連絡ください。
取扱・ボールの提供をさせていただきます。

セミナー情報

「全国巡回朗読セミナー」

朗読ボランティアの質の向上に！

朗読の基本から技術的な表現法まで学習。NHKアナウンサーの朗読ノウハウを身につけるチャンス!!

- 開催日：8月28日(木)～11月7日(金)
- 申込期限：定員に達し次第、締切り。

お問い合わせ先

(財)NHK放送研修センター 日本語センター(担当・原田)
TEL(03)3415-7121 URL <http://www.nhk-cti.jp>

助成金情報

「平成21年度 長寿・子育て・障害者基金

助成事業募集

高齢者、障害者の在宅福祉等の推進及び社会参加の促進、子育て支援、障害者スポーツの振興を図る目的とし、テーマに関連する事業を募集します。

- 助成金限度額：地方分 各200万円／特別分 各500万円
- 募集期間：2008年10月末日

お問い合わせ先

独立行政法人 福祉医療機構 TEL (03)3438-9946(基金事業部)
URL <http://www.wam.go.jp/wam/>

入学生募集

「NHK学園高等学校専攻科 社会福祉コース」

これから地域社会で活躍が期待されるボランティアリーダーの育成および介護福祉士の養成を目的としています。

- 2年生通信教育 募集人員：2,000名
- 出願期間：平成20年10月15日～12月17日(必着)

お問い合わせ先

学校法人 日本放送協会学園
TEL (042)572-3151 URL <http://www.n-gaku.jp>

ボランティア募集

第2期 芸館サポーター(ボランティア) を募集しています。



- 活動内容 展示室での作品ガイド、広報紙等の発送、図書等の整理など
- 応募条件 事前研修が受講でき、継続して2年間活動できる満18歳以上の方
- 募集人員 10名
- 応募方法 指定の申込用紙に記入後、郵送または持参(電話・メール不可)
*活動費・交通費等の支給はありません。

お問い合わせ先

〒870-0152 大分市牧嶺町1-6 大分県立芸術会館 ボランティア募集係
TEL:097-552-0077(担当・渋谷) <http://geijutukaihan-b.oita-ed.jp/>



収集ボランティアさん、 ありがとう！(敬称略)

●中古テニスボール

楊志館高等学校
大分サタモニテニスクラブ
スポーツオーソリティー パークプレイス大分店

提供先
募集中!!

●古切手・書き損じハガキ・ 使用済みテレfonカード

福留 美子 森 由紀子
鳴瀬 道子 岩尾 リツ

→

大分県
盲人協会

その他ボランティア・市民活動ルーム
前の設置ボックスへ入れていただいた方

*換金をして、協会活動の
支援に役立っています。

お知らせ!! 「フードドライブ」キャンペーン!!

食品を余らせるのは「もったいない」ですよね。余剰分・パッケージの変形等で商品にならない食品などを持ち寄り、地域の慈善団体や施設などへ届けるのが「フードドライブ」という活動です。今年も、女性だけの30分フィットネス「Curves(カーブス)」さんが11月より食品の持ち寄りを呼びかけます。

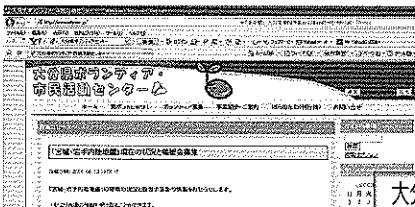
注意事項 12月に入つてからのお届けですので、生もの等受付けできないものがあります。詳しくは、下記へお問い合わせください。

贈呈先募集 食品のお届けを希望する「食品受付先近辺の児童養護施設・母子寡婦福祉会など」を募集しています。下記までご連絡ください。

食品受付先 Curves(カーブス)萩原店・別府山の手店・大分はさま店

お問い合わせ先 Curves(カーブス)萩原店 TEL0120-441-029

ホームページあります!! <http://www.oitavoc.jp>



ニュース、ボランティア活動情報
助成金情報、ボランティア保険
など掲載!! ぜひチェックして
みてくださいね。

大分県ボランティア市民活動センター

検索



前回、「めじろん」にならせて
もらつたお話をしましたが、
先日遂に新たな「めじろん」の
養成(繁殖?)に成功しました!
「めじろん2号」は、ダンスを生涯命に踊る、とつ
てもまじめな子。一方、サービス満点なお茶目なし
ぐさで、みんなを和ませてくれます。
10月11日～13日 九州石油ドームで開催され
る「ふれあい広場」には、福祉施設等
100を超える出
店ブースが立ち並び、特設ステージではダンスや
歌、神楽、楽器演奏やジャグリングなど様々なライ
ブパフォーマンスがくり広げられます。「めじろん
2号」は、お手製かばんをぶら下げているかもしれません。探してみて下さいね。

編集記
後

■ボランティア・市民活動についてのご相談・お問合せは…

社会福祉法人 大分県ボランティア・市民活動センター

■開所時間

月曜日～金曜日 8:30～17:15

TEL(097)558-3373 FAX(097)558-1296

■ボランティア・市民活動ルーム開室時間

月曜日～土曜日 9:00～20:30

日曜日、水曜日 9:00～17:00

平日の17:00以降及び土、日、祭日は事前に予約

